

通訳機「POCKETALK®(ポケットーク)」が 日本交通株式会社のハイヤーで接客ツールとして採用

ソースネクスト株式会社(本社:東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター33階 代表取締役社長:松田 憲幸)は、弊社のIoT通訳機「POCKETALK(ポケットーク)」が日本交通株式会社(本社:東京都千代田区紀尾井町 3-12 紀尾井町ビル 代表取締役社長:知識 賢治)の運行するハイヤーで外国人利用客の接客ツールとして採用されたことをお知らせいたします。

本製品は、世界 63 言語^(注1)で、互いに相手の国の言葉を使わずとも対話ができる先進のIoT通訳機です。

同社は東京都内を中心に約 7,400 台^(注2)のタクシーやハイヤーを運行する、大手タクシー会社です。タクシー業界では、2017年1月より都内初乗り料金の引き下げの実施や、全国ハイヤー・タクシー連合会では2019年度末までに外国語対応ドライバーを1万人にする目標を掲げるなど、インバウンド対策に取り組んでおり、その取り組みの1つとして、本製品が採用されました。まずは、外国人利用客の多いハイヤーで利用を開始、今後利用台数の拡大を検討していく予定です。

弊社は今後も「言葉の壁をなくす」というミッションの実現に向けて、本製品を日本のみならず世界中に広げて参ります。

注1 2018年1月時点での初代「ポケットーク」対応言語数 新型の「ポケットークW」は74言語に対応しています(9月7日時点)

注2 日本交通株式会社 2018年5月末時点



イメージ

【「POCKETALK(ポケットーク)」とは】

「POCKETALK(ポケットーク)」は手のひらサイズの通訳機です。話しかけるだけで通訳がいるかのように対話ができます。

言葉が通じることで、海外からの訪日客の接客に役立てたり、より海外旅行を楽しめたり、学習の一助としてちょっとした表現を知りたいときなど、幅広く活用できます。

最新の「POCKETALK(ポケットーク) W」は初代モデルと比べ、本体サイズはそのままに画面は3倍以上大きくなり、タッチパネルを採用。世界105の国と地域で使えるグローバル通信機能を内蔵しているため^(注3)面倒な設定は不要ですぐに使えます。通信は4Gに対応し、翻訳速度も向上、見やすさ、使いやすさ共に刷新しました。言語数はインド英語やオーストラリア英語などのアクセントにも対応し74言語^(注4)に拡大、翻訳精度の向上も実現しています。



「POCKETALK(ポケットーク) W」

「POCKETALK(ポケットーク) W」

詳細：<https://pocketalk.jp/>

リリース：<https://sourcenext.co.jp/pressrelease.html/JS/2018/2018072601/>

注3 グローバル通信(2年)付きの場合

注4 2018年9月7日時点

【 日本交通株式会社について 】

- 会社名 : 日本交通株式会社
- 本社所在地 : 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル
- 詳細 : <http://www.nihon-kotsu.co.jp/>

コピーライト表記について

■製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。

© SOURCENEXT CORPORATION

お客様お問い合わせ先

- ソースネクスト・カスタマー・サポートセンター
- ご購入前相談ダイヤル : 0570-035-333 (IP 電話からは 082-553-1081)